

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信



平成18年3月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.39



ほとんどの方が五ヶ瀬ハイランドスキー場でスキーをするのは初めて。インストラクターに教わりながら果敢にチャレンジ。

レディースチャレンジ  
「元気な宮崎づくり  
ふるさと再発見」  
モニターツアー



高千穂神社では、後藤宮司の「暮らしの中に生きる神話」と題した講演を聞きました。

財団法人みやざき観光コンベンション協会は、身近な観光客である県民、特に女性の視点で観光客誘致に向けた意見をいただくため、県内女性を対象にモニターツアー(高千穂、五ヶ瀬を中心)を3月10日～11日に実施しました。

参加者(61名)の皆さんは、五ヶ瀬ハイランドスキー場でのスキー体験、五ヶ瀬ワイナリー見学、夜神楽見学、高千穂峡(貸しボート体験)、高千穂神社(後藤宮司の講話)、国見ヶ丘散策、えりもの切り体験、記念植樹を行いました。



夜神楽に使う「えりもの」づくりを体験。作品はラミネート加工してお持ち帰りいただきました。(高千穂町岩戸「神楽の館」にて)



天岩戸温泉の横に桜の木を記念植樹。花が咲く頃にまた来てください。

# 西臼杵型産直住宅への取組 産直ツアー第2弾 植樹編

西臼杵林業振興協議会(西臼杵郡内の林業・木製材関係者で組織)は、樹木を伐採した後の植林等適正な森林の管理を促進することを目的として産直住宅事業に取り組んでいます。  
平成十七年五月に長崎材木店と森林所有者(甲斐希俊さん、五ヶ瀬町)との間で初めての契約が締結され、七月には福岡県で近々マイホームの建築を予定している施主さんの家族を伐採現場に招待する産直ツアーを開催しています。今回、産直ツアー第二弾として、三月二十五日、二十六日に昨年七月に伐採した現場で杉の苗の植栽を行いました。十四組約六十人が参加。  
産直住宅に取り組み、家を建てた後も山とまちとの関係が深まり仲間の輪を広げることで、山村地域に新たな活力が生まれることが期待されます。



1人当たり4、5本の苗を山鍬を使って丁寧に植えました。そして、植林者の名前などを書き込んだ標柱を立てました。



今回の産直ツアー記念植樹の標柱を立てました。



## 産直住宅の仕組み

伐採跡地の造林対策として、工務店(株)長崎材木店、福岡県古賀市、長崎秀人社長)に50年生を超える高齢級杉を市場価格より高い価格で購入してもらい、西臼杵森林組合が伐採搬出をして、(株)もくみが製材・乾燥加工をして木材を納入し、流通コストを抑えることで、実現しました。

森林所有者は、伐採後の山を適切に管理することが条件になっています。

## 福岡県古賀市にある長崎材木店の高千穂杉を使ったモデルハウス

## 現在福岡県で高千穂スギを使って長崎材木店が建設中の産直住宅



高千穂スギをアピールした看板が立っています。



くつろぎのスペース



作業スペース



木の温もりが感じられるスペース



高千穂スギの風合いを活かした家づくり。柱を隠さず、見せる工法で造っています。

# 五ヶ村村おこしグループ、五ヶ村地区むらづくり協議会 受賞記念祝賀会

五ヶ村村おこしグループ（工藤正任代表）が「平成17年度地域づくり総務大臣表彰」を、五ヶ村地区むらづくり協議会（工藤誠治会長）が「県のむらづくりコンクール大賞」に選ばれ、2団体の受賞記念祝賀会が3月13日に高千穂町岩戸の五ヶ村集落センターで行われました。関係者約120人が出席し、栄えあるダブル受賞を祝いました。



謝辞を述べる黒木今朝一五ヶ村公民館長



五ヶ村村おこしグループの工藤正任代表と工藤サヨ子さんが、これまでの取組をパワーポイントを使って紹介。

## 五ヶ村村おこしグループのこれまでの取組

- 平成6年4月 天岩戸温泉開業に合わせ、村おこし協議会結成（7名でスタート、その後2名が加入）
- 11月 天岩戸温泉茶屋オープン（県の「21世紀をめざすむらづくり事業補助金」を活用、残りは1人50万円を出資し200万円を借金）
- 平成7年4月 第1回天岩戸温泉桜まつりを開催
- 平成8年 天岩戸温泉団子が7万個を売れる大ヒットに
- 平成11年3月 日之影町の民家移築完成（神楽の館）（神楽継承、地域活性化を目的）（県の「21世紀を担うむらづくり事業補助金」を活用、残りは1人30万円を出資し850万円を借金、解体移築は自分達で実施）
- 平成11年12月 初めて五ヶ村の夜神楽を神楽の館で開催
- 平成13年3月 国民宿舎とタイアップし神楽体験ツアーを開始
- 平成13年7月 神楽の館2階を民宿用に改造
- 平成14年8月 民宿営業開始
- 平成15年7月 神楽面彫り教室を開催  
その他、竹の子掘り体験、山野菜を摘み料理体験、刈干切り体験を実施している。
- 平成17年5月 宮崎県地域づくり顕彰 奨励賞受賞

## 五ヶ村地区むらづくり協議会の活動内容

地域資源を有効活用した五ヶ村地元学の開催や中山間地域等直接支払制度を活用し、共同での農道舗装による農作業の効率化に取り組んでいる。

## 新商品開発相談会を開催

県物産振興センターは、昨年9月に引き続き宮崎県産品開発プロデューサーの西原昌男さんに来ていただいて、新商品開発相談会を実施しました。

平成18年度も、この相談会は継続して行われますので、商品開発、パッケージ等でお悩みの方は、是非御活用ください。



アドバイスをを行う西原昌男さん（一番右）（3月7日、西臼杵支庁）

## 高千穂峡の遊歩道の手すり一部完成

昨年の台風14号により、高千穂峡の遊歩道の手すりが流され、仮設の手すりとなっていました。支庁林務課による災害復旧工事が一部完成し、きれいな手すりになりました。



## いきいきジュニア森の学校

森林・林業について学習してもらおうと、3月13日に日之影町立日之影中学校1年生45名を対象に、3月16日には五ヶ瀬町立鞍岡小学校全校生徒70名を対象に「いきいきジュニア森の学校」を開催しました。

日之影中学校では、しいたけ原木への種駒打ち込み体験を実施しました。



種駒打ち込み体験を行う日之影中学校の生徒さん

鞍岡小学校では、植樹を予定していましたが、雨のため、「西臼杵及び五ヶ瀬町の森林の状況について」や「森林の役割やドングリの育て方」などの講義を行いました。



鞍岡小学校1～3年生の下級生向けの講義の講師を務めた支庁林務課の山下主査

## 高千穂町観光協会がモニターツアーを実施

3月7～9日

高千穂町観光協会は、北部九州地区の旅行エージェントの招待事業を実施し、福岡県を中心に8社9人が参加しました。

昨年10月に、マスコミを対象に実施したモニターツアーに続く第2弾。

今回も高千穂峡や天岩戸神社など代表的な観光コースに加えて、向山の秋元地区、常光寺の滝、くしふる神社周辺の神話史跡めぐりなど新たな観光コースを紹介しました。



くしふる神社を見学するモニターツアー参加者

## 麻の苧扱ぎ体験を実施

2月26日

麻は栽培日数が短く、病気に強く、やせた土地でも栽培できることから、西臼杵地域では、昭和40年代頃まで盛んに栽培されていました。

この麻の文化を後生に伝え残そうと高千穂町三田井浅ヶ部地区で、麻苧扱ぎ体験を行う「ふるさと歴史講座」が開催されました。県の「ふるさと再生運動促進事業」を活用。

苧扱(おこ)ぎとは、加工の最終段階で、おこぎ竹と呼ばれる2本の竹の間にはさんで川の流れの中で薄皮をこぎ落とす作業です。



麻の苧扱(おこ)ぎ体験を行う浅ヶ部地区の方々

### 編集後記

3月は、西臼杵の各地で様々な植樹が行われました。一方で、木材価格の低迷、高齢化等により、山の荒廃が進んでいます。第44回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞した高千穂町押方の飯干福重さんが、「水と空気がいいだけでは田舎に住んでいるねうちがない。いい山を作ることで価値がある。」と言われたことを思い出しました。県企業局は、18年度から20年かけて1千ヘクタールの植樹を行う「緑のダム事業」を実施するようです。私も樹木や草花の植栽を心がけていきます。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 高千穂町まちづくり講演会

3月18日

高千穂町は、団塊の世代の大量退職を前に、都市部からの移住者受け入れやそれに伴う課題等について話し合う「まちづくり講演会」を開催しました。

当日は、インサイダー編集長の高野孟さんの「なぜ私は房総の里山に移住するか?」と題した講演の後、「ふるさとを元気に 地域に活力を」をテーマに、甲斐良治さん(増刊現代農業編集主幹)が

コーディネーターとなり、パネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッション(左からコーディネーターの甲斐良治さん、パネラーの高野孟さん、栗原智昭さん、甲斐息さん)

## わくすず・千年樹の会が植樹

3月26日

高千穂町の地域づくり団体「わくすず千年樹の会」(佐藤光代表、17人)は、高千穂町三田井の浅ヶ部地区で、オカメザサ、ヤマザクラ、ケヤキ、コナラなど千五百本を植栽しました。町内外から約百人が参加。

また、同会は、これまでの活動が評価され、平成17年度MRT環境賞の優秀賞を受賞しました。



あいにくの雨(木にとっては恵みの雨)の中、焼山寺周辺に植樹

### 西臼杵支庁だより

#### 女性職員交流会

～押し花や押し葉を使って～ 3月8日

フォレストピアインストラクターの興侶任香さん(高千穂町押方)を講師に迎えて、押し花や押し葉を使って、しおりなどを作る教室を開催しました。



女性職員等15名が参加。素晴らしい作品ができあがりました。